

2021年9月4日裁判司法研究会議事録

1. 概要

【日時】2021年9月4日午後2時半から午後5時30分ごろまで

【会場】Zoomによる遠隔研究会および会議

【出席者】

小林、南京家、巫（3名）

2. 前回の研究会の議事録の確認

了承された。

3. 会則の承認

今回は、参加人数が少ないので、決議は見送る。

4. 研究課題の討論

【裁判官の定員と担当事件の数の関連】

裁判官の定員が少なくて事件を十分に審理して処理できない状態が続いている。戦後、この状態について、訴訟を提起する当事者が濫訴をしているのが問題だという認識に基づき、裁判所の対応能力を強化するのではなく、提訴のハードルを高くし、裁判官の手抜き審理を正当化する政策が採用されてきた。

会としては、日本国憲法第32条の裁判を受ける権利の保障の規定に基づき、裁判所の処理能力を充実させるべきと考えるが、その実現のためには、いろいろな問題を考えなければならない。

5. 最近の主な裁判判決に関する議論

① 工藤会トップの死刑判決

話題になっているが、次の点が議論された。

- ・判決文など、裁判資料が公開されず、詳細を知ることができない。
- ・被告人が襲撃を命令したことを示す直接証拠がないといわれている。
- ・組織犯罪は、暴力団に限らず、日本で多数発生してきたが、組織のトップが司法の場で犯罪などの責任を取らされることはない。たとえば、東芝や東電の企業犯罪や企業の重大な過失について、経営トップは起訴されない。桜を見る会の問題での安倍元首相や森友問題での公文書改竄における財務省トップの責任も司法的には問題にされない。暴力団は反社会組織だとして、その原則から外れる司法に正当性の根拠があるのか。
- ・暴力団対策法で、特定のグループに対して、憲法で保障された人権を停止

するような政策が採用されているが、暴対法に問題、特に憲法上のそれはないのか。

② 朝鮮高校授業料無償化訴訟最高裁上告棄却

高校の授業料無償化は、民主党政権のときに実施され、狭義の学校として認められている高校（いはゆる一条校）以外で、後期中等教育を担っている各種学校扱いの学校（アメリカンスクール、中華学校、あるいは韓国系の外国人学校など）は、すべて無償化の対象になっている。朝鮮高校についても対象にする方向であったが、菅直人内閣が「一時的に保留」して、別途検討するというようなことになった。その後、安倍政権が成立すると、検討するという部分が反故にされ、無償化対象除外が当然のような扱いになった。

この措置を撤回することを求め、朝鮮高校の卒業生などが各地で訴訟を提起したが、地裁段階で一件の勝訴判決が出ただけで、高裁ではすべて原告の請求を否定する判決が出て、最高裁でもその判断が維持される状態が続いていた。広島高裁の請求棄却判決を受けた最高裁の上告棄却決定により、すべての訴訟で朝鮮学校側の敗訴が確定した。

(主な議論)

小林：この事件について、SNSなどで意見発信すると、無数の攻撃発信を受けるということがあるのではないか。

巫：そういうこともあるだろうが、会の内部での討論でも同じようなものだ。

巫：日本国は諸外国に日本人学校を設置しているが、それらはすべて現地の政府の補助を受けている。日本の外国学校で朝鮮高校だけを除外するのは、露骨な差別を権力が保証しているということではないか。

外国人のために税金を使うべきではないなどというネトウヨの書き込みがあるそうだが、日本に住む外国人は日本で税金を払っている。

③ 群馬 朝鮮人労働者への追悼碑訴訟一審判決を取消、東京高裁

話が分かりにくく、説明できなかつたので、討論しなかつた。

④ 竹田恒泰氏名誉棄損の控訴審でも敗訴、差別指摘投稿は「公正な論評、意見の表明」

明治天皇の玄孫で、SNSや著作を通じて言論を発信している竹田氏が、富山県朝日町の教育委員会に中学高校生向けの講演を依頼され、講演が予定されていたところ、竹田氏の日ごろの言動が差別的で自国優越思想的であるので、学生向きの講演をするにはふさわしくない人物であるというツイートなどが多数発信され、主催者側にも脅迫を含む多くの抗議が寄せられたために、中止にせざるを得なくなつた。このことを問題にした竹田氏は、影響力の大き

かった発信者であると認めた山崎雅弘氏に謝罪などを求めたが聞き入れられなかったので、名誉棄損であると提訴した。地裁では、山崎氏の発言は「公正な論評」であるとして竹田氏の訴えが退けられ、控訴審でもその判断が維持された。

(主な議論)

南京家：竹田氏はあまりまともな言論人のようには見えない。

小林：まあ、竹田氏が敗訴するのは仕方がないのではないかな。

巫：竹田氏の番組を少し見てみたが、非常に口汚く中国や韓国をののしっている。彼は皇室の血を引いていると自称しているが、言論は下品だと感じた。しかも、自分は差別など一切していないと強く主張している。こういう人は多い。

7. 自由討論

(会員数の増加について)

南京家：本日は、参加者が少なく、残念だ。会員数が少ないと社会的な影響力もない。長期間活動してきた割には、会員数が少なすぎる。会員数を増やすために、もっと努力すべきではないかな。

巫：会員は多いほうがいいかもしれないが、宗教団体ではないので、単に人数を増やすだけの方策は採らない。

8. 予定

① 次回の研究会

2021年9月18日14時からZoom会議。Zoomホストは未定。

以上

2021年9月6日

巫召鴻